

中予地域の概要

中予地域は、愛媛県の中央に位置し、北西部は瀬戸内海に面し、南東部は西日本最高峰の石鎚山から四国カルストに連なる山間地域となっており、その間の重信川流域一帯に道後平野が広がっています。

気候は、平野部の松山市では、年平均気温 16.5℃、年間降水量 1,315mm と、温暖で雨の少ない瀬戸内式気候ですが、山間部の久万高原町では、年平均気温 12.6℃、年間降水量 1,896mm とやや冷涼で降水量も比較的多く、冬には積雪も見られる準高冷地の気候です。

総面積は約 15 万 ha(県全体の 27%)、総人口は約 65 万人(県全体の 47%)です。耕地面積は 13,457ha で、総農家数は 12,185 戸、うち販売農家数は 7,648 戸(構成比 62.8%)、そのうち専業農家は 3,666 戸(構成比 30%)となっています。

平野部では、米麦を中心に野菜や花き等の都市近郊型農業が、島しょ部や沿岸部では、柑橘の栽培が盛んで、山間部では夏季の冷涼な気候をいかした高原野菜等の栽培が行われています。

なお、地域農業育成室は松山市、東温市、伊予農業指導班は伊予市、伊予郡、久万高原農業指導班は久万高原町、産地戦略推進室は全域を管轄しています。

